

## 学校関係者評価公開資料

評価基準	
4	適切
3	ほぼ適切
2	やや不適切
1	不適切

### 基準 1 教育理念・目標

ガイドライン評価項目	自己評価	学校関係者評価
1-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4
1-2 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。	4	4
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	4
1-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	3	3
1-5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	4
<p><b>【根拠・改善内容・改善方策】</b></p> <p>①学則、パンフレット、学生の手引き、ホームページなどへ記載することで明文化している。</p> <p>②学生に対しては、学生の手引きを使用して、入学時のオリエンテーションで説明を行っている。</p> <p>③保護者に対しては、1年次に保護者会を実施しており、その中で説明を行っている。参加できなかった保護者の方には、保護者会で使用した資料を自宅に郵送し、目を通してもらっている。また、必要に応じて学生・保護者・教師の三者面談を実施しており、学校の考えや方針に理解をいただいている。</p> <p>④新人教員に対しては、年度開始前の新人教員研修を実施しており、その中で共通理解を図っている。その後も日々の業務の場で、引き続き共通認識の確認を行っている。</p> <p>⑤また、教職員間では日々の業務の場で、学生をどのように導いていくかについて、共通認識の確認を常に行っている。</p>		
<p><b>【関係者評価】</b></p> <p>①OICは前向きで教育に対して熱い思いを持っている。同じ教育に関わる立場として自分の幼稚園にも参考になることが多いと感じる。ボランティアでの行動力、チーム力はすごいと感じた。、幼保一体型という新制度になって幼稚園の先生のなり手が減少し、採用に苦戦している。幼稚園の現場を見てもらう機会を提供していき、人を育てていく場でありたいと思う。</p>		

## 基準2 【学校運営】

ガイ ド ラ イ ン 評 価 項 目	自己 評価	学校関係 者評価
2-1 理念・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	4
2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3	4
2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	3	4
2-4 人事、給与に関する規程等は整備されているか。	4	4
2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3	3
2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3	4
2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	4
2-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3	4
<p><b>【根拠・改善内容・改善方策】</b></p> <p>①年2回、2月と8月に「三友教育グループ」全体会議を実施している。</p> <p>②2月度の全体会議では、三友学園教育グループの経営責任者から、次年度に向けた全体方針が示される。</p> <p>③三友教育グループ3校それぞれの運営責任者から、全体方針に基づいた各校運営方針が示される。</p> <p>④各校の運営方針に基づいた各課・各学科の責任者から新年度の目標が発表される。</p> <p>⑤8月度の全体会議では、上記の中間報告を行い、実施状況の確認および見直しを行っている。</p> <p>⑥毎週、拡大幹部会議と部課長会議を実施しており、就職状況・募集状況の報告、担当者から提出された行事等の企画書の検討を行い、企画実施の承認可否決定を行っている。</p> <p style="text-align: center;"><b>運営組織体制</b></p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR     A[理事会] --- B[拡大幹部会議]     B --- C[部課長会議]     C --- D[課会議]     D --- E[学科会議]             </pre> </div> <p>⑦社会保険労務士の指導のもとで、就業規則・出張旅費規程・給与規程・退職金規程・車両管理規程・稟議規程・育児介護休業規程・教育研修規程・定年再雇用規程・嘱託教職員等就業規則・個人情報保護規程・ハラスメント防止規程・公印規程・慶弔見舞金規程などを作成し、明文化することで全教職員が常に確認できる状態にしている。</p> <p>⑧ホームページにおいて、学校情報の情報公開を行っている。</p> <p>⑨自社開発のシステムから、全国の900校を超える学校で導入実績のある学園総合情報システムを導入した。新システムの導入により、システムの安定性・運用保守・機能間のデータの連係などの向上が図られている。一方で、全ての機能が、本校の運営機能に最適に適している訳ではないため、システム担当者を置き、システムの一部カスタマイズを行い、より効果的にシステムが運用できるように努めている。</p> <p><b>【関係者評価】</b></p> <p>①概ね整っている。</p>		

### 基準3 【教育活動】

ガイ ド ラ イ ン 評 価 項 目	自己 評価	学校関係 者評価
3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	4
3-2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	4
3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	4
3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	4
3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	4	3
3-6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	4	4
3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	4
3-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4	4
3-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	4
3-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	4
3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3	3
3-12 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。	3	3
3-13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3	4
3-14 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3	3

### 【根拠・改善内容・改善方策】

- ①学科毎に年2回、それぞれの専門分野の企業様にご協力をいただき、教育課程編成委員会を開催し、教育内容についてご意見をいただいている。
- ②学校関係者の皆様のご協力をいただき、年1回、学校関係者評価委員会を開催し、職業教育に関し外部評価をいただいている。
- ③専門教育を行っていく中で、現場の皆様のご意見は大変貴重なものであり、常に業界における最新の動向を教育内容に取り入れることは、専門学校教育においては重要なことであると考えている。
- ④それぞれの委員会でいただいたご意見をもとに、必要に応じてカリキュラム体系の見直しを行い、修業年限に対応したシラバスを作成し、授業を実施している。
- ⑤すべての学生に対して、修業年限のカリキュラムの中で、企業実習もしくは企業連携授業を課している。企業実習の経験は、技術の習得だけでなく、物事に対する取り組み姿勢を含めて心の成長を得ることができ、その後の就職活動を行っていくうえでも非常に効果を上げている。
- ⑥年間カリキュラムおよび成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準については、学則と学生の手引きで明文化し、授業および成績評価を実施している。
- ⑦全教師に対する、学生による授業アンケートを年2回、前期・後期の授業終了前に実施している。授業アンケートの結果については、全ての教師に管理職から面談形式でフィードバックし、その後の学生対応および授業展開に生かしている。
- ⑧新入教員に対しては、下記の通り年間を通じての研修を実施している。
  - ・年度開始前に5日間にわたって新入教員研修を実施
  - ・4月後半にはフォローアップ研修を実施
  - ・6月中旬には「信頼関係構築研修」を実施
  - ・6月後半にはフォローアップ研修を実施
  - ・8月中旬には「伝え方研修」を実施
  - ・11月後半には「教師として」と題した研修を実施
  - ・2月中旬には全専研グループによる「新人教師研修会」に参加
- ⑨新人以外の教員に対しても、外部で実施される研修への参加や、学内での研修を年間を通じて実施し、能力開発に努めている。なお、教師の研修受講内容については本校ホームページにて情報公開を行っている。

### 【関係者評価】

- ①学生アンケートの分析が見られてよかった。また、今回キャリアビジョンを見ると例年以上に大規模病院への就職が決まっており、先生方のフォローを感じられた。
- ②学生アンケートの項目で「成績をつける基準について」の評価が、前期の77.3%から後期では83.8%へと向上している。どのように取り組んだのか。
  - ・授業毎に成績基準についてより細かく説明するように取り組んである。
- ③学生アンケートの項目で評価が低い項目についてはどのように対応を行っているか。
  - ・教師に対してしっかりとフィードバックを行い、改善に取り組むようにガイダンスを行っている。
- ④教職員のレベルアップが必要となってくるが、学生アンケートの項目が教職員にとって優しいものになっており、質問項目の見直しを検討してみてもどうか。
  - ・本校の学生アンケートは教師のモチベーションを上げるもので、指摘してモチベーションの

低下につながるような配慮も行っていたが、プロとしてしっかりと質を上げていくためにも今後は見直しを行いたいと考える。

- ・小さい組織だとマンネリ化につながるので、見直しを行ってより質の向上につなげてほしい。

⑤学科の見直しについてはどうされているのか？

- ・廃止も検討した学科もあるが、昨年度は学科の方向性を考えるために1学科ごと会議を行い、見直しをかけた。
- ・新設学科の設立を検討するにあたっては、時代のニーズが重要な要素のひとつとなる。現在のニーズにあった学科においては、設立にあたって教育環境を整えるために大きな設備投資が必要となる。今後さらに進んでいく少子化の中で、学校ごとの教育目標に沿った学科構成と募集戦略を総合的に検討する必要がある、本校においては現時点では新設学科の設立は見送ることとした。
- ・本校では、特に会計ビジネス学科が減少傾向にあるので、来年度より経営アシスト学科と名称を変更し、カリキュラム内容も見直しを行っている。
- ・ITビジネス学科においても一般財団法人ビッグデータマーケティング教育推進会と連携してカリキュラムの見直しを行っている。

⑥Webクリエイターを目指す学生が減少しているように感じるが、なぜ人気がないのか？

- ・本校のオープンキャンパスの参加者数においても高校生の人気が増えている。特に情報系の女子学生に人気がない。今後OCにおいて魅力が語れるように改善していきたい。
- ・人手不足と言われる業界の中で、もし実際に業界で働いている方々から、業界の魅力を高校生に語ってもらえる機会があればぜひ協力をお願いしたい。高校の教師も学生も業界について知らない。業界を知らない大人たちの中で高校生は自分の進路について考えていることが多いので、学生の就職の幅を広げるためにも業界の魅力を伝えるお手伝いをしていただけたらと考える。

**基準4 【学修成果】**

ガイ ド ラ イ ン 評 価 項 目	自己評価	学校関係者評価
4-1 就職率の向上が図られているか。	4	4
4-2 資格取得率の向上が図られているか。	4	4
4-3 退学率の低減が図られているか。	4	3
4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3	3
4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3	3

**【根拠・改善内容・改善方策】**

- ①就職に関しては、内定を得ることがゴールではなく、その先の社会で卒業生がいかに充実したキャリアを重ねていくことが出来るかを常に全教職員が意識し、専門職への就職、正社員として就職することの意味を学生にしっかりと伝えて就職活動をサポートしている。その成果が平成29年の最終就職希望者（530名中511名）を含め、毎年就職希望率の向上につながっている。
- ②上記の延長線として、外部へ向けての学生の就職状況の数値報告については、就職希望者を対象にする内定率だけではなく、就職年次のすべての学生数を明記することにより、本来の就職状況が分

かるように数値を記している。

- ③キャリアサポート室のスタッフと卒業年次の担任による就職会議を毎日実施し、求人情報の伝達、情報交換、学生の就職活動状況の共有を図っている。
- ④学内で独自の就職セミナー・内定者向けセミナーを実施している。
- ⑤就職後の離職状況の把握については、就職先の企業に対して就業状況のアンケートを実施し、状況把握を行っている。
- ⑥就職活動において、大学生ともしっかりと競えるように、希望者には放課後セミナーを実施するなど、学生個々で必要とするサポートを行うことで、大手企業への就職につながってきている。
- ⑦資格取得については、単に資格取得を目指すだけではなく、人間形成教育の一環として全員受験を行っている（級毎の段階的受験を除く）。毎回、目標設定を行い、教員間でしっかりと情報共有をし、資格試験前の対策授業を実施している。
- ⑧パンフレットの合格実績表記は、取得率（クラス全員対象）と合格率（受験者対象）を明確に分けて記している。
- ⑨昨年度は、在校生数が開校以来最大の人数でスタートしたが、担任がメンターとして学生に対してきめ細かく、面倒見よく接することで、また学生に関わる教員間で連携をしっかりと取ることで、昨年度と比較しても退学者数・退学率ともに減少し、退学防止につながってきている。

#### 【関係者評価】

- ①H28年度と比べてH29年度は退学者が減少したとあるが、どのような取り組みを行ったか。
  - ・H28年度は入学者が過去最高となりまた新人教師も増え教師の手が回らない時期もあったが昨年度の反省をもとに、H29年度は学生へのガイダンス等もしっかりと行いまた教師間での情報共有と教師間でのフォローもしっかりと行った成果と考える。
- ②専門職に就職していない学生もいるが、専門職で就職した学生の離職率はどうなっているのか？
  - ・離職率については、就職している事業所についてアンケート依頼を出しているのもので専門分野以外でもアンケートを取っており、専門職だけの離職率については確認が難しいが、関連した仕事の離職率は高くないと考える。また、本校においては就職希望者の割合が96.4%と高く、また就職内定率も99.8%（H29年度卒業生）の中での就離職率調査を行っており、数字に表れる離職率だけでは図りきれないことがあると考える。
- ③OICが作成している冊子「CAREER VISION」から卒業生の就職先は確認できるが、卒業した学生が離職した場合のデータベースは持っているか。卒業生の就職支援は行っているのか。また、教育としては高校生だけがターゲットではなく、学び直しの卒業生もターゲットになるのではないか。
  - ・本校でもリカレント教育は必要だと考えているが、学び直しをしたい社会人はまだほとんどいない。今後、国が進めていく中で、学び直しが当たり前になればよいと考えているが、本校において、卒業生の転職のサポートはまだ、手が回っていない状況である。

#### 基準5 【学生支援】

ガイ ド ラ イ ン 評 価 項 目	自己評価	学校関係者評価
5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	4
5-2 学生相談に関する体制は整備されているか。	4	4

5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	4
5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	4	4
5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3	3
5-6 学生の生活環境への支援は行われているか。	3	4
5-7 保護者と適切に連携しているか。	4	4
5-8 卒業生への支援体制はあるか。	3	3
5-9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3	3
5-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3	3

**【根拠・改善内容・改善方策】**

- ①担任とキャリアサポート室スタッフによる、就職サポート体制を構築している。
- ②スクールカウンセラー・臨床心理士による相談窓口を設置し、学生のみならず保護者も相談を受けられることができる体制を構築している。
- ③年1回の健康診断を実施し、指定医からの助言を受けるなど、学生の健康管理の体制を整えている。
- ④OIC独自の学費支援制度・各種制度による経済的支援体制を構築している。

入学時

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 試験による OIC 特別奨学金制度 | 資格・検定による OIC 特別奨学金制度 |
| 社会人等支援奨学金制度       | 学卒者入学金免除制度           |
| 兄弟姉妹・親子入学金免除制度    |                      |

在学時

- |           |          |
|-----------|----------|
| 後期授業料免除制度 | 各種表彰制度   |
| 通学定期券     | 学生旅客運賃割引 |

入学時在校時共通

- OIC 特別学費支援制度

- ⑤厚生労働省から社会人の学び直しを支援する教育訓練給付金制度講座の認定を受けている。
- ⑥県内の各高等学校を会場にして、本校教員による高校生向けのキャリア講演会やマナー講座、さらには公務員試験対策講座や情報処理講座などを実施している。
- ⑦県内の各高等学校または本校を会場にして、高校生の進路研究に関する体験授業を行っている。
- ⑧高等学校の教師に対する各種説明会を年に数回（公務員セミナーなど）行っている。

**【関係者評価】**

- ①概ね整っている。

## 基準6 【教育環境】

ガイドライン評価項目	自己評価	学校関係者評価
6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3	3
6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	3	3
6-3 防災に対する体制は整備されているか。	3	3
<b>【根拠・改善内容・改善方策】</b> ①大学・短期大学・大都市圏の専門学校との比較では、施設・施設設備に関しては不十分である。 ②最先端の教育環境の整備は必要ではあるが、予算的にも優先順位をつけての段階的な設備投資を行っている。具体的には、全教室へのプロジェクターの設置やWiFi環境の整備を行った。 ③企業様との連携については、企業実習や特別授業など、ここ数年でかなり充実してきたが、今後も企業様のご協力を頂きながら、お互いにとって「Win - Win」の関係が築けるように、より一層の強化を図っていきたい。 ④本校舎ビル内に防災センターと協力し年2回、防災訓練、消防訓練を実施している。 ⑤日本赤十字社の講師を招いて、全教職員を対象とした、救急法の講習会を実施している。		
<b>【関係者評価】</b> ①概ね整っている。		

## 基準7 【学生の受入れ募集】

ガイドライン評価項目	自己評価	学校関係者評価
7-1 学生募集活動は、適正に行われているか。	4	4
7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	4
7-3 学納金は妥当なものとなっているか。	4	4
<b>【根拠・改善内容・改善方策】</b> ①開校以来30余年、“誠実に”を心掛けての学校運営を行ってきた。学生募集においては、学生を集めるためだけの広報活動ではなく、高校生にとって進路選択に必要な情報は何かをしっかりと考えて、情報提供を行い、募集活動を行っている。 ②オープンキャンパスにおいて、進路選択のポイントをしっかりと伝えている。 例 就職内定率・検定合格率など公表する数値の意味をしっかりと説明する。 A0入試制度のメリット/デメリットについての説明。 一つでも多くの学校・学科の話聞いて、じっくりと学校選びをすること。		
<b>【関係者評価】</b> ①概ね整っている。		



## 基準8 【財務】

ガイドライン評価項目	自己評価	学校関係者評価
8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	4
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3	3
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか。	4	4
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3
<b>【根拠・改善内容・改善方策】</b> ①税理士・公認会計士の監査・指導のもと、ホームページへ財務関係の情報公開、監査役への事業報告を行い、適切な財務管理をおこなっている。		
<b>【関係者評価】</b> ①概ね整っている。		

## 基準9 【法令等の遵守】

ガイドライン評価項目	自己評価	学校関係者評価
9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	4
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3	3
9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4	3
9-4 自己評価結果を公開しているか。	4	4
9-5 学校関係者評価の実施体制を整備し評価をおこなっているか。	4	3
9-6 学校関係者評価結果を公表しているか。	4	4
9-7 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか。	4	4
<b>【根拠・改善内容・改善方策】</b> ①自己点検・自己評価を実施し、その結果をホームページに公開している。 ②学校関係者評価委員会を実施し、その報告書をホームページに公開している。 ③上記以外に、財務・学校基本情報などをホームページに公開している。		
<b>【関係者評価】</b> ①自己点検・自己評価について、出来ていないところの振り返りはあるが、出来ていることの確認は行っているか。 → 悪いところは改善しようと目が向き改善に取り組んでいるが、出来ていることに対しては、よりよくしていくための改善は後回しになっているかもしれない。今後は出来ていることに対しても、よりよくなるようにしっかりと改善意識を持って取り組んでいきたい。		

**基準 10 【社会貢献・地域貢献】**

ガイドライン評価項目	自己評価	学校関係者評価
10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	3
10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	4
10-3 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	4	4
<p><b>【社会貢献・地域貢献に対する根拠・改善内容・改善方策】</b></p> <p>①各種団体と連携し、本校において講座・セミナーなどを開催している。  例 福島ゲームジャム 岡山会場 ET ロボコン 岡山予選会場  岡山市後援 中学・高校生向け Unity ゲームプログラム入門講座</p> <p>②各種団体から依頼のあったボランティアを学生に紹介し、希望する学生が参加している。  例 庭園岡山エコクリーナーズの清掃ボランティアへの年2回参加  社会福祉施設・保育園・幼稚園でのボランティア  本校学園祭において</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本赤十字病院との共同による献血活動</li> <li>・難病と闘うこどもが持つ夢の実現の手伝いを支援するメイク・ア・ウィッシュ活動への協力</li> </ul> <p>赤い羽根共同募金活動  おかやまマラソンボランティア  奉還町ハロウィンフェスタ</p>		
<p><b>【関係者評価】</b></p> <p>①概ね整っている。</p>		